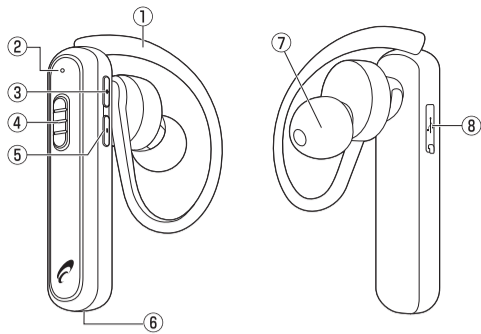
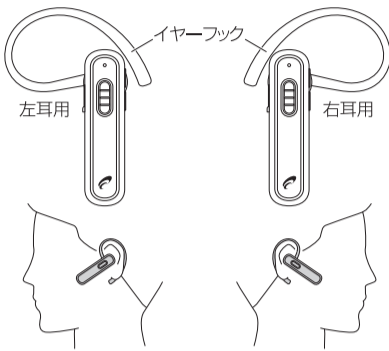


各部の名称



- ①イヤーフック
- ②LEDランプ
- ③音量/スキップボタン(+)
- ④マルチファンクションボタン
- ⑤音量/スキップボタン(-)
- ⑥マイク
- ⑦イヤーチップ
- ⑧充電用microUSBポート

装着方法

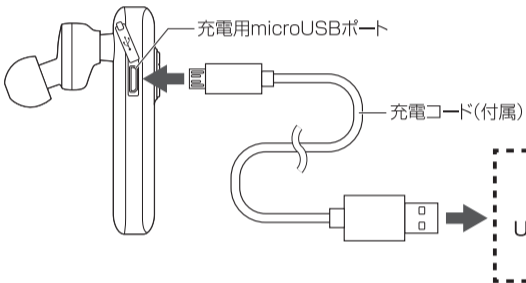


- 本製品には着脱式のイヤーフック(1個)が付属しています。イヤーフックは左右兼用で、取り付ける向きによって使い分けられます。
- 取り付けは本機のイヤホン軸部にイヤーフックを差し込んでください。
- 装着時はイヤーフックを耳にかけ、イヤホンを耳穴に軽く入れるように装着してください。

充電のしかた

充電用microUSBポートのカバーを外し、付属の充電コードでパソコンのUSBポートなどと接続してください。

充電が始まるとLEDランプが赤く点灯し、完了すると青く点灯します。



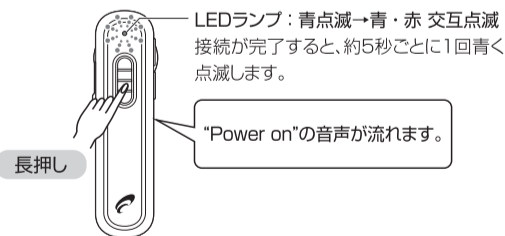
ヒントとご注意

- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
- 充電中は本製品を使用できません。
- 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
- 本機を充電するには電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とパソコンは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- 残量ゼロからフル充電までは約1.5時間かかります。十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度: 0℃~40℃、湿度: 20~80%)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していてもLEDランプが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 電池残量が少なくなると、「please charge」と音声流れ、LEDランプが赤く点滅するようになります。しばらくすると電源が切れますので、直ちに充電してください。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
- 家庭用コンセントで充電する場合はUSB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。

電源のオン/オフ

電源オン

マルチファンクションボタンを長押しすると電源が入ります。青のLEDランプが3回点滅した後、青と赤の交互点滅になります。はじめて使うときは、ペアリングが必要です(「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください)。



電源オフ

電源が入っているときにマルチファンクションボタンを、約4秒間長押しすると電源が切れます。赤のLEDランプが点灯した後、消灯します。



主なLEDランプ表示とその内容は以下の通りです。

LEDランプ	内容
点灯(赤)	充電中(完了後は青点灯)
点滅(青⇄赤 交互点滅)	ペアリングモード(接続可能機器検索中)
5秒ごとに1回青く点滅	接続中

ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をイヤホンとして使用するBluetooth機器(携帯電話やBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど:相手側機器)に本機を初期登録する操作のことです。

はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

- 1 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機とBluetooth機器を用意します。
 - 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
 - 相手側のBluetooth機器は電源が入った状態でかまいません。

- 2 マルチファンクションボタンを長押しして電源を入れます。電源が入ると、ペアリングモード(相手側機器を探している状態)になります。ペアリングモードでは青と赤のLEDランプが交互に点滅します。



- 3 Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

- iPhone :
[設定]→[Bluetooth]
- Android :
[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]
- NTT docomo :
[アプリ]→[設定]→[Bluetooth]
- SoftBank :
[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]
- au :
[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]
- Windows Mobile :
[設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称「HST-W51N」が表示されたら、それを選択して登録します。*パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。
*携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると...

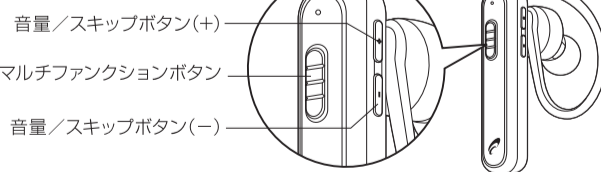
接続が完了するとイヤホンから「Connected」の音声が流れ、本機を使用できる状態になります。接続完了後は、LEDランプが約5秒ごとに1回青く点滅します。必要に応じて、相手側機器で再生などの操作をしてください。

ヒントとご注意

- 対応プロファイル: 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.1 (プロファイル: HSP、HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 接続しようとしている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行っていると、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行ってください。
- ペアリングモードのまま約5分が経過するとペアリングがキャンセルされ、電源が切れます。その場合はもう一度最初からやり直してください。
- 一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、ペアリング操作を再度行なってください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、本機の電源を入れると自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確認してからお使いください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフしてから操作をやり直してください。
- ペアリング完了後、相手側機器で再生などをしない時間(通信がなされていない状態)では、LEDランプが約5秒ごとに1回青く点滅します。
- 本機は最大8台のBluetooth機器を登録できます。8台を超えて登録しようとする古いものから削除されます。
- 本機にはマルチポイント機能があり、同時に2台の携帯電話の待ち受けが可能です。マルチポイント機能を使う場合は、「マルチポイント機能を使う」の項を参照して、別途設定してください。

オーディオコントロール

本機はA2DPに対応しているので、接続した携帯電話やスマートフォンの音楽や音声を聴くことができます。



再生中のボタン操作

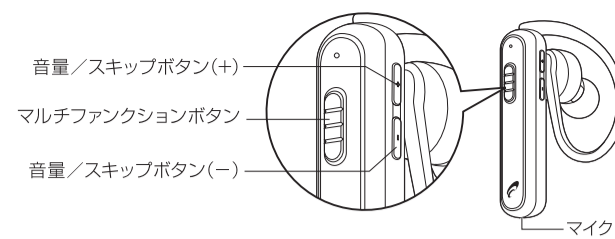
ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生/一時停止	本機の電源を切る
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる	次の曲を再生
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生

●接続先の機器によっては機能しないことがあります。

iPhoneをお使いの場合の付加機能

iPhoneと本機を接続してお使いの場合は、マルチファンクションボタンを2秒間長押しすると、Siriを呼び出すことができます(通話中を除く)。Siriを終了するときにはマルチファンクションボタンを1回押ししてください。

携帯電話の操作



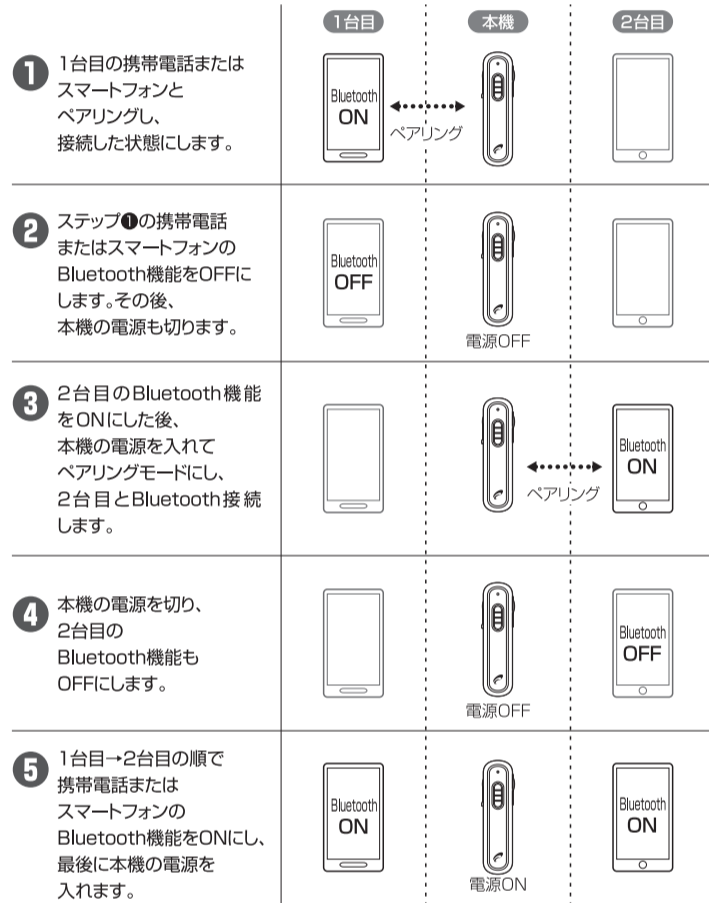
動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
リダイヤル	待ち受け中にマルチファンクションボタンを2回続けて押す
音量を上げる	音量/スキップボタン(+)を押す
音量を下げる	音量/スキップボタン(-)を押す

ヒントとご注意

- 通話時はマイク部を指先や衣服などでふさがないようにご注意ください。
- リダイヤルについて: リダイヤル先は最後に発信した相手となります(着信した相手へのリダイヤルはできません)。
- お使いの機種によっては、携帯電話側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて通話したい場合は、各機器付属の取扱説明書を参照し、本機スピーカーを選択してください。
- 着信音について: 携帯電話の機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後は携帯電話側から通常の着信音出力される場合があります。

マルチポイント機能を使う

マルチポイント機能を使うと、2台の携帯電話やスマートフォンを待ち受けすることができます。以下の手順で設定してください。

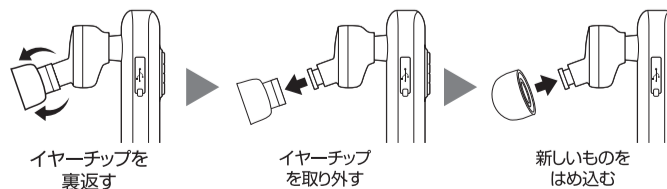


ヒントとご注意

- いずれかの携帯電話に着信(呼び出し)があった場合: マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- 2台とも着信があり、呼び出し中の場合: マルチファンクションボタンを押すと、最初にかかってきた携帯電話とつながります。
- 通話中にもう一方の携帯電話にも着信があった場合:
 - ・マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、通話中の携帯電話は保留になり、後からかかってきた電話に出ることができます。
 - ・もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、後からかかってきた電話を保留し、元の電話(最初にかかってきた電話)との通話を再開します。通話が終了すると2台とも待受状態になります。
- 携帯電話の機種によっては、マルチファンクションボタンによる操作で通話を終了することができない場合があります。その場合は相手に通話を切ってもらるか、携帯電話側で操作をしてください。
- リダイヤル機能について:
 - ・1台目の携帯電話のみリダイヤル機能が有効で、最後に発信した番号に電話をかけます。
 - ・ご注意: 携帯電話の機種によっては、ロックがかかっているとリダイヤル機能を使えない場合があります。
- マルチポイント機能が使えるのは携帯電話のみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台の携帯電話を3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのBluetooth対応携帯電話での動作を保証するものではありません。

イヤーチップの交換方法

本機には3種類(S、M、L)のイヤーチップが付属しています。好みに応じてフィットするサイズを選んでご使用ください。(工場出荷時はMサイズが装着されています)。



お手入れのしかた

※必ず電源を切ってから行ってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を濡らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。